

がん化学療法科 ニュースレター(仮称) 第三号



皆様、平成23年をいかがお過ごしでしょうか。
 年が改まっても、ついつい2010年と書いてしまったりでしたが、平成23年、2011年にも少し慣れてきました。ニュースレターも発行から第三号となります。がん化学療法に関するトピックや、スタッフからの話題を中心にお知らせしておりますが、できるだけ役立つ内容を盛り込めるように、情報の交流となるように構成を考えていきたいと思ひます。また、4月を目標にニュースレターのタイトルを決定したいと思ひます。

新薬承認と公知申請

がんの薬物療法においては、国内外で使える薬剤に違いがある、いわゆる内外格差、ドラッグラグという問題が指摘されてきました。患者さんも医療者も、海外で標準的に使用される薬剤が、何故日本では使用できないのだろうと不満に感じてきたわけでは、

この問題は、今に始まったことではなく、以前からあったのですが、この解消の試みとしては、「抗がん剤併用療法に関する検討委員会」というのが厚生労働省に設置されたことがあります。平成16-17年ごろのことです。乳がんのAC療法や、軟部肉腫のAI療法など、海外で標準的に行われている治療が本邦で導入されました。

平成17年以降は、この委員会は終了したので、新薬承認までのサイクルを短くすることや、承認後に市販後調査を行う条件付で承認される流れを導くことで、対応されてきたといえます。実際にこの間に、オキサリプラチン、ベバシズマブ、セツキシマブ、パニツムマブなどが次々に承認されて、ドラッグラグは解消されつつありました。この枠組みで承認された薬剤も多いのですが、どちらかというとなら5大がんと言われる頻度の多いがんが中心で、比較的稀な疾患に関しては対応が遅れているという面も明らかになってきています。

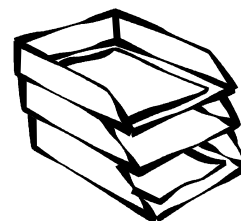
そこで、がんの薬物療法には限りませんが、公知申請という枠組みが使われ始めています。「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」で公知申請が可能と判断した薬剤につき、承認前に保険医療として使用可能になるというものです。卵巣癌に対する、ゲムシタビンやノギテカン、胃癌に対するカペシタビンなどが既に公知申請されました。現在182の薬剤が検討されていて、厚生労働省 医薬食品局のホームページで審議内容などが参照できます。今後期待される薬剤としては、胃癌に対するオキサリプラチン、胆道癌に対するシスプラチン、乳癌に対するカルボプラチン、卵巣癌のエトポシドなど多数の薬剤があります。既に保険診療として使用可能になった薬剤に関しては、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構のホームページで確認することができます。全てが認められるかはわかりませんが、非常に注目しています(加藤)。

厚生労働省 医薬食品局

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/05/s0521-5.html>

医薬品医療機器総合機構

http://www.info.pmda.go.jp/kouchishinsei/kouchishinsei_index.html



スタッフ・自己紹介

井出悦子 看護師（がん化学療法科外来 / 外来化学療法室）

昨年、7月からの配置となり半年以上が経ちました。まだ半年の経験しかないのか（看護師歴は長いですけど・・・）という思いと、もう半年も経ったのに解らない事だらけで複雑な気持ちです。こんな頼りのない私ですがどんどん声をかけてください。

患者様の質問には、先生方、スタッフの方から、確認をしながらでもお答えして行きたいと思います。

また、早とちりなところがあり、学生時代から多々失敗してきた私です。患者様には間違いのないよう、何度も確認したりとお待たせすることがあるかと思いますが、広い心で宜しくお願いします。

切実な問題が1つ、この正月で白衣（青衣）がきつなくなりました。「このまま自分を許してはいけない。」と気持ちに喝を入れ、雪かきに励んだのですが、2日後筋肉痛で情けない姿になってしまいました。運動をせず好きな物を食べ、ダイエットできる方法なんて・・・ないですよええ。

今年は雪が多くて、元日そうそうから雪かきに追われました。やっぱり身体を動かさせてことですね。地道にがんばります。



2011.1.1の朝 車が!!

コラム

私の郷里の富山県西部では、お正月には天神様をお飾りするのが慣わしです。通常、長男が生まれると、掛け軸の天神様か、木彫りの天神様を母方の実家から贈るのです。鏡餅やお神酒をお供えて、天神様がいらっしゃる間は、お雑煮などのお食事も給仕することになっています。天神様のお世話は基本的に男子の仕事です。この習慣は全国共通かと思っておりましたが、北陸地方に独特のものとのことです。

天神様のお顔にも変遷があります。曾祖父の天神様はすらっとした感じ、祖父のはいかめしい感じで、父のは温和な感じですが、私の天神様は明晰な面持ちの天神様です。時代によって理想となる男性の容貌が変わるのかもしれませんが、代々の天神様を全てお飾りするのですが、曾祖父の代で金沢から富山に移り住んだので、私で4代目です。今は合わせて5代目の天神様をお迎えしています。（加藤）

MEMO

2月のがん化学療法科の予定

2月4日 申し訳ありませんが、休診です
2月18日 柴田教授外来



2011年 恵方は南南東